平成26年3月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上 場 会 社 名　　モリ工業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　5464　URL http://www.mory.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)森　　宏明
問合せ先責任者　(役職名)専務取締役　　(氏名)濵﨑　貞信　　TEL 06-4708-1271

四半期報告書提出予定日　　平成25年11月12日
配当支払開始予定日　　平成25年12月２日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年3月期第２四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第２四半期	18,276	0.6	1,595	67.4	1,679	72.6	1,125	110.7
25年3月期第２四半期	18,160	△9.0	953	△38.6	972	△38.1	534	△47.0

（注）　包括利益　　26年3月期第２四半期　1,320百万円(202.9%)　　25年3月期第２四半期　436百万円(△47.4%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第２四半期	27 17	―
25年3月期第２四半期	12 69	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第２四半期	43,007	26,887	62.2	645 65
25年3月期	42,350	25,428	60.0	613 82

（参考）　自己資本　　26年3月期第２四半期 26,746百万円　　25年3月期 25,428百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	4 00	―	5 00	9 00
26年3月期	―	5 00			
26年3月期(予想)			―	5 00	10 00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	1.3	3,100	37.0	3,200	36.4	2,000	133.8	48 28

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　1 社（社名）PT. MORY INDUSTRIES INDONESIA

（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）P3「２.サマリー情報(注記事項)に関する事項　(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	42,373,404株	25年3月期	42,373,404株
②　期末自己株式数	26年3月期2Q	948,675株	25年3月期	946,251株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	41,426,116株	25年3月期2Q	42,086,240株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… P. 2
(1) 経営成績に関する説明 …… P. 2
(2) 財政状態に関する説明 …… P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… P. 3

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… P. 3

３．四半期連結財務諸表 …… P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… P. 7
（継続企業の前提に関する注記） …… P. 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… P. 7

４．補足情報 …… P. 7
＜参考資料＞ …… P. 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による各種政策により円安・株高が進行して輸出環境や企業収益の改善がみられるなど、景気は緩やかながらも回復傾向にあります。当社グループの主力商品であるステンレスは、前年度後半にニッケルの市場価格が上昇したため価格値戻しが行われました。値戻しはある程度は達成されましたが、値戻しの影響もあり市況の荷動きは盛り上がりに欠けるものになりました。

このような状況下におきまして、当社グループは自動車用ステンレス管、建設仮設材用鋼管などの健闘で当第２四半期連結累計期間における売上高は182億76百万円(前年同期比0.6%増)となりました。収益面におきましては、工場稼働率の向上、製品価格の上昇、材料価格上昇に伴う在庫評価の好転などにより利益項目は以下のように大幅な増益となりました。営業利益は15億95百万円(前年同期比67.4%増)、経常利益は16億79百万円(前年同期比72.6%増)、四半期純利益は11億25百万円(前年同期比110.7%増)となりました。

これを製品部門別にみてまいりますと、

ステンレス管部門では、自動車用は好調を持続しました。装飾用は健闘したものの、配管用は数量の減少等により振るいませんでした。その結果売上高は84億87百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

ステンレス条鋼部門では、公共投資等の減少により売上高は50億48百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

ステンレス加工品部門では、環境対応型給湯器向け部品は好調さを持続しましたが、家庭用金物製品は円安傾向にもかかわらず輸入品の流入は続き、売上高は11億62百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

鋼管部門では、建設仮設材用の好調さが全体を牽引し、売上高は21億48百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

その他部門では、パイプ切断機は設備投資の鈍さを受け低調でした。通信販売用商品と自転車の販売は前年並みに好調でした。その結果売上高は、14億28百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

(その他の実施事項)

① インドネシア共和国に設立した連結子会社のPT. MORY INDUSTRIES INDONESIAは設備の搬入もほぼ終了し、ユーザーへのサンプルパイプの提供を始めております。

② 当社が25%出資し三重県四日市市に設立したＰＭＭ　ＰＩＰＥ株式会社は、現在設備の据え付け中で、来年１月の稼働を目標に準備を進めております。

(製品部門別売上高比較表)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)		当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)		前連結会計年度 (自　平成24年４月１日 至　平成25年３月31日)	
区　分	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
ステンレス管	8,398	46.2	8,487	46.4	17,488	46.6
ステンレス条鋼	5,127	28.2	5,048	27.6	10,960	29.2
ステンレス加工品	1,233	6.8	1,162	6.4	2,256	6.0
鋼管	1,939	10.7	2,148	11.8	3,961	10.6
その他	1,462	8.1	1,428	7.8	2,840	7.6
合　計	18,160	100.0	18,276	100.0	37,508	100.0

※　報告セグメントが１つでありますので製品部門別に区分して記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第２四半期連結会計期間末の総資産は430億７百万円となり、前連結会計年度末に比べて６億57百万円増加いたしました。総資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加３億78百万円、受取手形及び売掛金の減少14億42百万円、たな卸資産の増加８億26百万円、有形固定資産の増加11億70百万円、その他の投資の減少９億35百万円（主に関係会社株式の減少）などであります。負債の部の増減の主なものは、短期借入金の増加３億77百万円、長期借入金の減少６億84百万円、退職給付引当金の減少２億35百万円などであります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は268億87百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億59百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が９億16百万円増加したことに加え、その他の包括利益累計額が４億１百万円増加したことなどによるものであります。また、連結範囲の変更により少数株主持分が１億41百万円新たに発生いたしました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.2ポイント上昇し、62.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第２四半期累計期間の業績は、自動車用ステンレス管などのユーザー向けが予想以上に好調さを持続し、当初予想を上回る業績となりました。通期の業績予想につきましては、第２四半期累計期間の業績を踏まえ平成25年10月24日に「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」を公表し、修正しておりますのでご参照ください。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度において非連結子会社であったPT. MORY INDUSTRIES INDONESIAは、重要性が増したことにより、第１四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,832	3,210
受取手形及び売掛金	12,197	10,755
有価証券	―	641
たな卸資産	8,147	8,973
その他	703	711
貸倒引当金	△24	△20
流動資産合計	23,857	24,272
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,339	7,661
その他（純額）	6,249	7,097
有形固定資産合計	13,588	14,758
無形固定資産		
その他	19	19
無形固定資産合計	19	19
投資その他の資産		
その他	4,915	3,980
貸倒引当金	△31	△23
投資その他の資産合計	4,884	3,956
固定資産合計	18,493	18,735
資産合計	42,350	43,007
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,237	7,169
短期借入金	1,411	1,788
未払法人税等	455	562
引当金	371	353
その他	1,549	1,388
流動負債合計	11,024	11,262
固定負債		
長期借入金	2,511	1,827
退職給付引当金	1,847	1,612
役員退職慰労引当金	395	387
長期リース資産減損勘定	801	689
その他	340	340
固定負債合計	5,896	4,857
負債合計	16,921	16,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,705	7,705
利益剰余金	10,210	11,126
自己株式	△243	△244
株主資本合計	25,032	25,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	307	469
為替換算調整勘定	89	328
その他の包括利益累計額合計	396	797
少数株主持分	―	141
純資産合計	25,428	26,887
負債純資産合計	42,350	43,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	18,160	18,276
売上原価	14,590	13,984
売上総利益	3,570	4,291
販売費及び一般管理費	2,617	2,695
営業利益	953	1,595
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	24	43
持分法による投資利益	38	63
その他	26	35
営業外収益合計	90	145
営業外費用		
支払利息	29	23
売上割引	18	21
為替差損	15	－
その他	7	16
営業外費用合計	71	61
経常利益	972	1,679
特別損失		
固定資産除却損	10	1
投資有価証券評価損	139	－
会員権売却損	1	－
特別損失合計	151	1
税金等調整前四半期純利益	821	1,677
法人税、住民税及び事業税	318	550
法人税等調整額	△31	7
法人税等合計	287	557
少数株主損益調整前四半期純利益	534	1,120
少数株主損失（△）	－	△5
四半期純利益	534	1,125

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	534	1,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	162
為替換算調整勘定	－	55
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	△17
その他の包括利益合計	△98	200
四半期包括利益	436	1,320
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	436	1,320
少数株主に係る四半期包括利益	－	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

該当事項はありません。

４．補足情報

〈参考資料〉　別紙

－ 以 上 －

＜参考資料＞

平成25年10月31日
モリ工業株式会社

平成26年3月期 第２四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前期末 H25.3.末	当四半期末 H25.9.末	増 減		前期末 H25.3.末	当四半期末 H25.9.末	増 減
流動資産	23,857	24,272	415	負 債	16,921	16,120	△801
現金及び預金	2,832	3,210	378	支払手形及び買掛金	7,237	7,169	△68
受取手形及び売掛金	12,197	10,755	△1,442	有利子負債	3,935	3,627	△308
たな卸資産	8,147	8,973	826	長期リース資産減損勘定	801	689	△112
その他	679	1,333	654	その他	4,946	4,633	△313
固定資産	18,493	18,735	242	純資産	25,428	26,887	1,459
有形固定資産	13,588	14,758	1,170	株主資本	25,032	25,948	916
土地	7,339	7,661	322	その他の包括利益累計額	396	797	401
その他	6,249	7,097	848	少数株主持分	―	141	141
無形固定資産	19	19	0				
投資その他の資産	4,884	3,956	△928				
資産合計	42,350	43,007	657	負債・純資産合計	42,350	43,007	657

2. たな卸資産回転月数（期末たな卸資産÷累計期間の月平均売上高）

（単位：月）

	前四半期	当四半期	増 減
たな卸資産回転月数	2.86	2.95	0.09

3. 有形固定資産の増減内訳

（単位：百万円）

有形固定資産の増減		設備投資		連結範囲変更		減価償却		その他処分等
1,170	＝	598	＋	949	―	376	―	1

4. 実質有利子負債の比較

（単位：百万円）

	前期末 H25.3.末	当四半期末 H25.9.末	増 減
①有利子負債	3,935	3,627	△308
②現預金等換金性のもの	2,832	3,710	878
実質有利子負債①－②	1,103	△83	△1,186

5. 要約連結損益計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期 24.4-24.9	百分比 %	当第２四半期 25.4-25.9	百分比 %	増 減
売上高	18,160	100.0	18,276	100.0	116
売上原価	14,590	80.3	13,984	76.5	△606
売上総利益	3,570	19.7	4,291	23.5	721
販売費及び一般管理費	2,617	14.4	2,695	14.8	78
営業利益	953	5.3	1,595	8.7	642
営業外収益	90	0.5	145	0.8	55
受取利息	0		3		
受取配当金	24		43		
持分法投資利益	38		63		
その他	26		35		
営業外費用	71	0.4	61	0.3	△10
支払利息	29		23		
売上割引	18		21		
その他	22		16		
経常利益	972	5.4	1,679	9.2	707
特別利益	―	―	―	―	
特別損失	151	0.9	1	0.0	△150
固定資産除却損	10		1		
投資有価証券評価損	139		―		
その他	1		―		
税引前四半期純利益	821	4.5	1,677	9.2	856
法人税等	287	1.6	557	3.0	270
少数株主利益	―	―	△5	△0.0	△5
四半期純利益	534	2.9	1,125	6.2	591

6. 当第２四半期の経常利益増減要因（前第２四半期対比）

（単位：百万円）

増益要因	金 額	減益要因	金 額
1.生産金額（量・価格を含む）の増加	236		
2.原材料を含めた変動費の減少	121		
3.固定費の減少	60		
4.前年同期の割高な期首製品棚卸高による売上原価の引き上げの解消	262		
5.その他	28		
計	707	計	―
		差 引	707